

令和2年度 南関東・東京ブロック 事業報告

1. 活動テーマ

みる・つなぐ・うごかす ～保健師の原点から住民と共に創る～

2. 目的

災害に強いまちづくり ～保健師活動における災害時の自治体の応援派遣・受援について

3. 実施状況

回	開催日	場 所	内 容
1	7月18日(土) 14時～16時	横浜市健康福祉総合センター	【第1回支部長会議】 参加者数：5人 (1) 全国保健師長会理事会・拡大常任理事会等報告 (2) 令和元年度 南関東・東京ブロック活動報告 (3) 令和2年度 南関東・東京ブロック活動計画及びブロック研修会について (4) 情報交換
2	令和3年1月 送付	書面研修	【題目】 保健師活動における災害時の自治体の応援派遣・受援について 【講師】 千葉大学大学院看護学研究科 教授 宮崎 美砂子 氏 【方法】 書面研修 ・全会員（906人）へ研修資料送付 ・全国保健師長会のホームページに掲載

4. 結果・課題

新型コロナウイルス感染対応に従事している自治体や感染防止のため県外への外出を控えるように指示される自治体もあり、支部長会議も一同が集まって話し合うことが困難な状況でした。感染者数の急激な増加など対応の最前線で活動している会員も多くいることから、オンラインでの会議や研修の時間設定が難しいことが予想され、ブロック研修も書面（資料送付）とし、全会員に送付しました。

《研修報告》

研修の議題は、昨年から引き続き「災害時の応援・受援活動について」学んでいく方針で検討して参りました。各自治体の実践報告を交えた研修を目指していましたが、宮崎先生の知見を広く伝えていただく形にしました。

内容には、宮崎先生から2020年3月に各自治体に届けられた『保健師の災害時の応援派遣及び受援のためのオリエンテーションガイド』を参考にした人材育成や、コロナ禍における応援・受援の留意点なども盛り込んでいただき、全会員に送付いたしました。また、全国保健師長会のホームページに掲載しました。

《課題》

(1) 研修資料の活用や振り返り、共有の場が持てなかったこと

ブロック内の自治体がコロナの感染数の最も多い地域であり、自治体内外の横のつながりの活動ができない状況でした。書面研修は、情報が一方的なため、双方向のやり取りや共有ができませんでした。

(2) ブロック活動について

今年度は社会全体での急な感染症対応が必要でしたが、今後も感染拡大が続いた場合に、活動方法や情報収集、連携の方法を模索していく必要があります。

(3) 感染を踏まえた災害時の対応課題

今までの災害時の保健師活動に加え、新たに地域間の移動も含めた感染症対策も念頭に入れた災害時の取り組みが全自治体の保健師活動の重要な課題です。

5. 支部活動の特徴

次年度の新規会員に、研修資料（冊子）を参考にお渡しできるようにしました。

6. 委員・支部長

	氏名	所属
○理事	齋藤 有香	横浜市保土ヶ谷区福祉保健センター
理事	金高 久美子	神奈川県鎌倉保健福祉事務所三崎センター
埼玉県	鈴木 洋子	埼玉県保健医療部 保健医療政策課
さいたま市	吉原 勝子	さいたま市保健福祉局保健所
千葉県	池田 紀子	千葉県松戸健康福祉センター
千葉市	阿部 裕子	千葉市保健福祉局 保健福祉総務課
東京都	河西 あかね	東京都南多摩保健所
東京都特別区	木内 恵美	文京区保健衛生部 健康推進課
神奈川県	磯崎 夫美子	神奈川県平塚保健福祉事務所秦野センター
川崎市	熊切 真奈美	川崎市幸区役所地域みまもり支援センター
横浜市	山崎 由美	横浜市泉区福祉保健センター
責任者○印		